

社協だより まんのう

2019
1月発行
VOL.50



安心安全の地域づくり
～琴南地区防災研修会～

元気ふれあい
ほつと安心

地域で共にいきるまちづくり



この広報誌は赤い羽根共同募金の助成により作成しています。



町内の福祉関係者が集い「第13回まんのう町社会福祉大会」が開催されました。

この大会は、誰もが住みなれた地域で、その人らしく安心して暮らせるまちづくりを目指し、毎年行っています。

記念講演では、演芸家・動物ものまね芸 江戸家 小猫様を講師に迎え「病に学んだ芸の道々楽しく生きる3つのコツ」と題して、ご自身の病気と向き合いながら家業を受け継ぐプロセスと楽しく生きるための3つのコツを動物ものまね芸を織りまぜながら語っていただきました。

最後に大会宣言が採択され、来場していただいた皆さんと地域福祉に取り組む決意を新たにしました。



社協会長表彰者

(順不同)

民生委員児童委員表彰

高尾 幸男様
細川 和代様
大西 徹様
田中 一夫様
秀石 謙三様
須藤 富美子様

社会福祉団体役員表彰

まんのう町社会福祉協議会
長炭支部
近藤 健二様

社会福祉施設職員表彰

社会福祉法人正友会
法人本部
三好 香住美様
社会福祉法人正友会仲南荘
久保 潤修様
社会福祉法人正友会仲南荘
森 武雄様

社会福祉事業のボランティア表彰

小山 敏子様
若林 秀子様
藤原 利栄子様
白川 重子様
大西 久夫様
山本 嘉明様





大会宣言

少子高齢化にともなう核家族化の進行や単身世帯の増加、人口減少など家族や地域のあり方が変容する中で、住民相互のつながりの希薄化による社会的孤立や、経済的困窮をはじめとする生活困窮など、深刻な福祉課題や生活課題が顕在化しています。

このような状況の中、誰もが住みなれた地域で、その人らしく安心して暮らしていくためには、身近な人の抱える悩みに気づき、寄り添った支援を提供できる地域共生社会が強く求められています。

このときにあたり、福祉関係者は行政や専門職、関係諸機関と一層の連携を深め「元氣ふれあい ほっと安心 地域でともに生きるまちづくり」に向けて、地域住民とともに次の事項に取り組むことをここに宣言します。

- 見守り、声かけにより、地域の絆を育みます。
- お互い様のつながりや支え合いにより、安心できる居場所づくりを進めます。
- 一人ひとりの生活課題に寄り添い、我が事・丸ごとの地域づくりを推進します。

平成三十年十二月八日

第十三回まんのう町社会福祉大会

受賞おめでとうございます

10月30日(火)に開催された香川県社会福祉大会において、長年地域福祉推進に努められた下記の方々が、表彰を受けられました。

香川県社会福祉協議会会長表彰

(社会福祉事業奉仕団体)

葉ぼたんの会

(社会福祉事業協力者)

和泉 峰子 様



香川県共同募金会会長表彰

(優良団体) まんのう町社会福祉協議会 神野支部

広がれ!! サロン活動

～知恵袋教室～

町内で、いきいきふれあいサロン、つどいのひろばひまわり、小地域ふれあいサロンを行っているボランティアさん等、延べ16名が参加。

食品衛生のお話では、実際に手洗いの実技を交えて町健康増進課管理栄養士河野香代様のご指導をいただきました。

健康体操の実技では、NPO法人 HMS副代表 長谷川 理恵 様に高齢のボランティアさん、参加者の皆さんでも地域の活動に取り入れる事の出来る「ちょっと脳を使いながらの運動・体操」のご指導をしていただきました。

今回参加された方より「自分の地区のサロンでも取り入れたい。」「今回の教室に参加し、久しぶりに隣地区のボランティアさんに会えて良かった。」との感想をいただきました。有意義な教室となり今後の活動に期待がされます。



▲食品衛生について



▲講師 健康増進課
管理栄養士 河野 香代様



▲NPO法人 HMS副代表
長谷川理恵 様



▲健康体操



ようこそサロンへ 中所ワクワクサロン

中所ワクワクサロン(代表 長谷川 律子)は、平成30年4月よりはじまりました。7月7日には、短冊に願い事を書いたり、折紙で飾りつけをしたり、野菜を飾って素麺を食べ皆でお祝いをしました。

サロンに伺ったのは、11月17日。当日は、中所集会场で開催。持ち寄った野菜や柚子を使いばら寿司と、豆腐汁を作り皆でお喋りをしながら楽しいひと時を過ごしました。

最高齢者の本多ハル工様(90歳)は、「ここに来て皆と会ってお喋りするのが楽しい。」「歩いて行ける近くの場所で、知っている皆と顔を見て皆で話ができて楽しい。」と、笑顔で応えてくれました。

助成のお知らせ 用件を全て満たしたサロングループに年間2万円の運営助成をしています。事前に登録が必要です。詳しくは、町社協へお問い合わせ下さい。

データー	
発足年	平成30年4月20日
会員数	24名
会場	中所自治会集会场
開催時間	10:00~12:30
開催回数	12回



福祉サービス利用援助事業

(日常生活自立支援事業)

福祉サービスの利用手続きや生活費の管理が一人では難しい…

日常生活の心配ごと、困りごとの相談を受けながら、福祉サービスを利用する手続きのお手伝いや、日常生活費の管理のお手伝いをします。

サービス内容

①福祉サービス利用援助

- ・福祉サービスについての情報提供や利用手続きのお手伝い
- ・利用している福祉サービスの苦情を解決するためのお手伝い
- ・福祉サービス利用料の支払いなど

②日常的金銭管理サービス

- ・公共料金などの支払いや年金などの受領の確認
- ・日常生活に必要な生活費の払戻など預貯金の出し入れ
- ・日常生活の金銭管理についてのお手伝い

③書類等預かりサービス

- ・預貯金通帳や年金証書など、無くしては困る大切な書類の預かり
- ※「書類等の預かりサービス」のみの利用はできません。

「利用できる方」

- ・高齢や障がいにより、日常生活上の判断に不安を感じている方が対象です。

「利用するには」

◎まんのう町社会福祉協議会 介護福祉課にご相談ください。

(ご相談は無料です。相談内容等プライバシーは厳守いたします。)

- ・専門員が訪問して、ご本人と提供するサービス内容を話し合い、支援計画を立て、契約を結びます。

※ 契約行為が理解でき、ご本人の利用希望の意思が確認できること

この事業における契約行為とは、ご本人（利用者）と社会福祉協議会の間で福祉サービス利用援助契約を締結することをいいます。家族や代理の方との契約は結ぶことができません。(但し、成年後見人等と契約を結ぶことは可能です。)

また、福祉サービスを利用する際の手続きや申請、日常的な金銭管理等利用者の権利に深く関わった援助をするため、あくまでもご本人（利用者）の意思が確認できることが前提となります。

「利用料について」

- ・1回（1時間程度）の利用の場合 : 利用料金1,500円
- ・書類等の預かりサービスで金融機関の貸金庫等を利用する場合 : 貸金庫利用料の実費



登録ホームヘルパー募集中!!

応募資格

- ・介護福祉士 ・看護師
- ・実務者研修修了者（旧：介護職員基礎研修、ホームヘルパー1級）
- ・介護職員初任者研修修了者（旧：ホームヘルパー2級）
- ・ヘルパー業務の経験のある方 ・年齢60才未満の方

業務内容

- ・身体介護 ・生活援助
- 詳細は面談にてご説明します。
- まずはお電話にてお問い合わせ下さい。
- 連絡先：TEL 77-2997（介護福祉課）

成年後見制度の理解を深めよう！法人後見研修会開催される

本年度より、新規事業として取り組む法人後見事業。この事業は、まんのう町社協が成年後見制度における成年後見人、保佐人及び補助人を受任するものです。成年後見制度は、判断能力が不十分な方について、本人の財産や権利を護る援護者を選ぶことにより、本人を法的に支援する制度です。法人後見事業に取り組むにあたり成年後見制度についての研修会を11月8日に実施しました。研修会には、本会役員など47名が参加し、講師の高松家庭裁判所丸亀支部の主任書記官田中敬士氏より成年後見制度の現状や関係機関との連携についてお話しいただきました。



平成 30 年度

まんのう町見守り・声かけ・ほっと安心事業 研修会

今年度は、11月28日(水)に取り組み集落代表による「見守り・声かけ・ほっと安心事業事例発表」
「地域福祉マップづくり実践研修」が行われました。

取り組み集落代表による事例発表

- 宮田自治会 ～ 森末 福美 様
- 追上中組 ～ 上村 廣子 様
- 谷山内自治会 ～ 森 勝輔 様



地域福祉マップづくり実践研修

参加者全員が地域福祉マップづくりに参画することで、地域づくりや防災への意識が高まります。



安心・安全の地域づくりにむけて

高めよう、地域の防災力

12月9日(日)、琴南農村環境改善センターにて琴南地区防災研修会を実施いたしました。まんのう町総務課の楠見様を講師に迎え、災害に関する基本的な知識を学ぶとともに、新聞紙やツナ缶など身近にあるものを用いた防災グッズ作りや、ハイゼックス（日本赤十字社の災害時炊飯用のポリ袋）での炊飯・試食を体験しました。本日の参加者の学びから、各地域で防災意識がより一層高まることが期待されます。



▲新聞紙で作るスリッパ



▲ツナ缶ランタン

つどいの ひろば ひまわり通信

ひまわりデーター (10月~12月)

「ひまわり」登録数	68組
一時預かり登録者数	0組
利用者数	保護者延べ 210人
	子ども延べ 245人
職員・ボランティア等延べ	396人



★10月23日

あそびの宅急便
親子であそぼう!

さぬきこどもの国から楽しい遊びの
おねえさんがやって来た!!

★10月30日

ハッピー・ハロウィン仮装!!



親子でたっぷり身体を
動かしてあそびました!!



いろんなキャラクターになりきって!!



おやつ
ちょうだい!

こんなことしたよ!



音楽療法士による歌や
リズム遊びを親子で楽しみました!!



★12月14日 たのしいクリスマス会



サンタさんから
プレゼント!!

★11月29日

専門医にきく乳がんの講話の
丸亀医療センター専門医 惣田麻衣先生
乳がんの発症原因から検査まで
丁寧にお話いただきました。



今、あなたができること

あなたのために、そしてあなたの家族のために
乳がんを早期に見つけるのはあなた自身...

乳がん検診を受けましょう



善意の寄付

皆様からの善意のご寄付は地域福祉に有効活用させていただいております。本誌をもって改めて厚くお礼申し上げます。

平成30年10月1日から平成30年12月31日分

個人

中通 黒川永二郎
公文 長谷川公一

造田 堀田 重利
長尾 篠原 和敏

団体

一般社団法人 仲善教育会



イラスト 山本恭子さん

寄付金の税額控除について

本会への寄付金は所得税及び住民税の控除対象になっています。寄付金控除の適用を受けるには、寄付の際に交付した領収書を添付して確定申告を行って下さい。

ボランティア協力校紹介

気づく・感じる・学ぶ

四条小学校 児童生徒の福祉教育

ボランティア活動の感想をいただきましたので、ご紹介いたします。



僕は、二学期の間に二つのボランティア活動をしました。

5年 佐藤 章太郎

一つ目は、ベルマーク集めです。ベルマークの回収を呼びかける張り紙を作ったり、集まったものを仕分けしたりしました。大変だったけど、たくさんのベルマークを集めることができて、とてもうれしかったです。

二つ目は、アルミかん集めです。朝早くにアルミかん集めに行くのは面倒だったけど、みんながたくさん持ってきてくれたので、学校の役に立つことができたのだな、と思いました。

これら二つのボランティア活動をしてみて、どれも大変で疲れたけれど、とても充実感を味わうことができました。学校のためにこれからもボランティア活動を続けたいと思います。

まんのう健康・福祉まつり開催のお知らせ

第13回まんのう健康・福祉まつりを下記の日程で開催いたします。

日時 平成31年3月16日(土)
10:00~14:00

場所 満濃農村環境改善センター

詳しくはチラシ(2月末配布予定)でお知らせします。大勢の方のご来場をお待ちしております。



ふれあいネットワーク



社会福祉法人 まんのう町社会福祉協議会

〒769-0313 香川県仲多度郡まんのう町生間 415 番地 1 [役場仲南支所内]
☎ 0877-77-2991 FAX0877-77-2992 E-mail: manno-syakyo@mg.pikara.ne.jp

<http://www.manno-syakyo.jp/>